

ダム湖面利用を考えよう！
第17回アウトドアカレッジ ダム部
【開催報告】

ダム湖面利用を考えよう！

第17回アウトドアカレッジ

日時：令和6年12月18日(水) 19時～20時

場所：設楽ダム広報展示室

参加者：28名

テーマ：ダム湖面利用を考えよう！

設楽ダム湖面の具体的な利用方法や

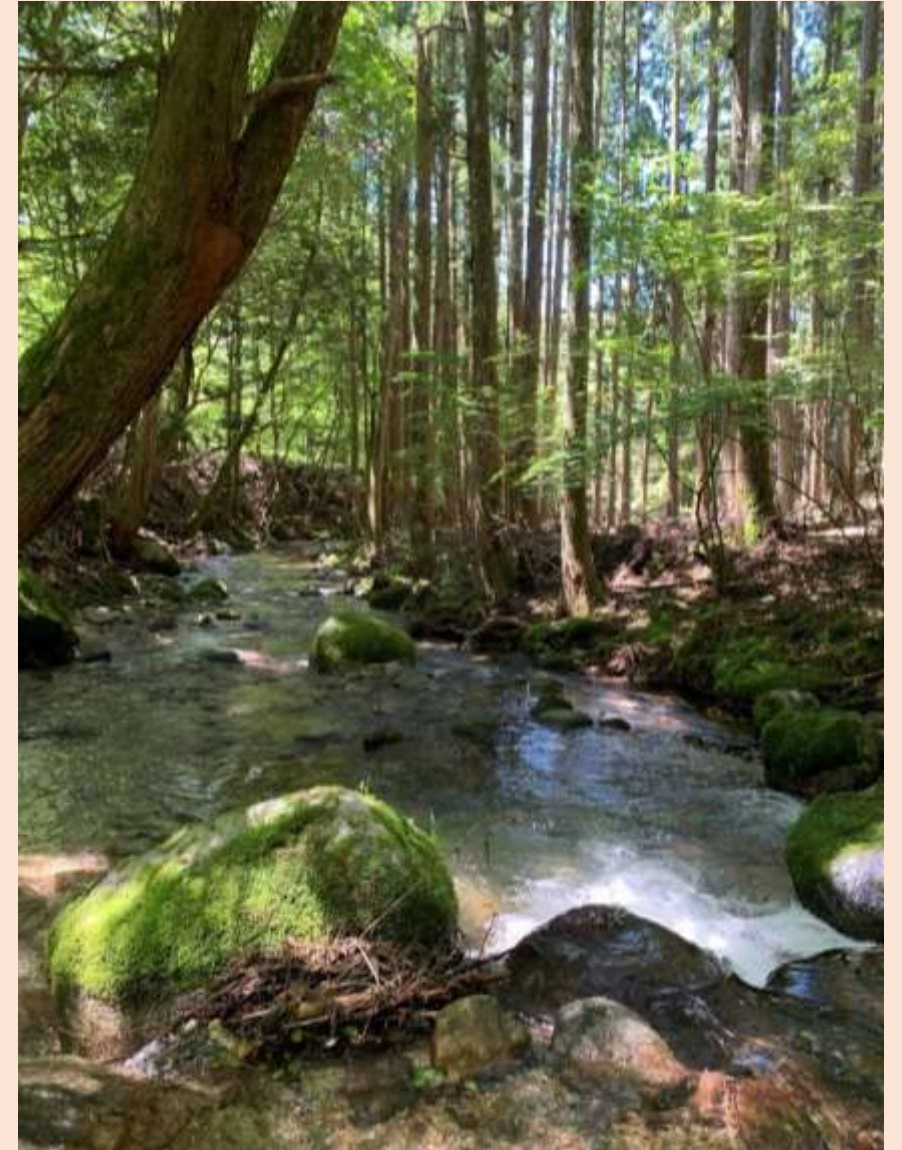
湖面へのアクセスルートに関する意見交換、検討など

アウトドアのまち したら

設楽町は豊川、矢作川、天竜川の3つの水系の水源地です。

そこに住む人々は、古くから川を大切にし、山を育て、田畑を耕し、豊かな自然環境と共生した暮らしをしてきました。

「アウトドアのまち したら」とは、設楽町での豊かな暮らしを未来へ繋いでいく取組です。



「アウトドア」とは？

「アウトドア」と聞くと、キャンプや登山、オリエンテーリングなどを想像されるかもしれませんが。

しかし設楽町では、アウトドアの本来の意味である「屋外」での活動すべてをアウトドアと考えます。

つまり、畑や田んぼでの農作業、草刈り、蜂ぼいやひなたぼっこなどもアウトドア活動です。

設楽町の暮らし＝アウトドア



アウトドアカレッジとは？

今ある地域資源、語り継がれる文化などを再認識し、設楽町での豊かな暮らしを未来につないでいくため、みなさんと一緒に考え、取り組んでいく場です。

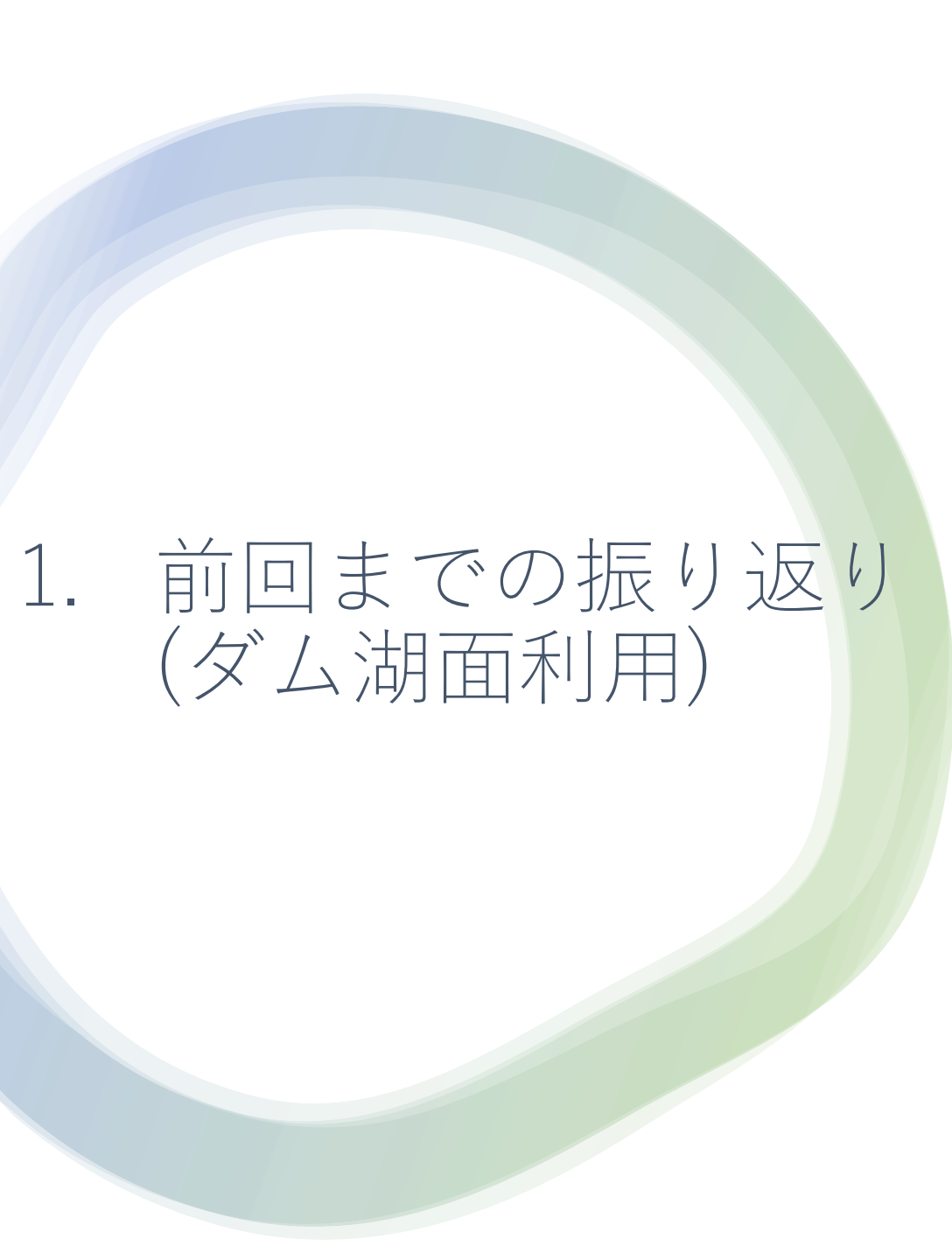
これまでに、ダム湖周辺整備に関する意見交換会、焚火を囲んだ交流会、ワークショップなどを実施してきました。

毎月第3水曜日の19時～20時を基本に開催しており、どなたでもご参加いただけます。



タイムスケジュール

1. 前回までの振り返り(ダム湖面利用) 5min
2. ダム湖面利用事例共有 10min
3. ダム湖面へのアクセスについて 10min
4. 設楽ダム湖の具体的な利用方法について 10min
5. ダム湖視察提案 10min
6. その他 15min



1. 前回までの振り返り (ダム湖面利用)

- 第3回・第6回・第12回で、ダム湖周辺整備や湖面利用をテーマに、アウトドアカレッジを開催
- 意見交換や交流により、ダム湖面利用における様々なキーワードが生まれている
- 現在までの事例分析により、設楽ダム湖面利用における具体的な利用方法を検討するにあたり、住民・事業者などで構成される**湖面利用協議会(仮称)設立**が必要
- 今後も、勉強会、視察、事例紹介なども企画していくので、参加者の皆さんには継続的に関わっていただく(初めて参加いただく方大歓迎！)
- 令和14年(2032年)の試験湛水までには、湖面利用協議会(仮称)を設立し、湖面利用の具体案が策定されている状態を目指す
- 湖面利用のほかに、ダム湖への降り口の整備について、関係機関と調整しながら取り組む予定

湖面利用協議会スケジュール案

年単位計画

項目	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
ダム建設		ダム本体関連工事								試験湛水	完成	
湖面利用協議会		勉強会								準備会		

試験湛水されるまでは、勉強会として開催（隔月に1回をメドに開催）

先進地の視察や事例研究を行う

設楽ダムの湖面利用に関係する個人や事業者を巻き込みながら検討を進める

【内容など】

ダム湖までのアクセス方法の検討（他ダム湖との比較・検討）

湖面利用のルールづくり、安全な管理体制づくり

河川利用のオープン化の手続きに向けた連携・検討

例：水上バイク、バーベキュー、花火、たき火の利用を許可するのか

安全管理上その他に検討事項はあるか

外来魚の放流対策

ダム湖の発着場の管理、施錠

釣りをはじめ、どのようなアクティビティが実施できるのか など

ダム湖面利用に関する整備方針

- ・田中ケン氏とのワークショップ、これまでのアウトドアカレッジの内容、過年度の検討内容等を踏まえ、導入する機能に対する整備方針を整理した。

【整備方針①】：設楽町内におけるアクティビティのランドマークとなる

- ・人が工夫して遊べる場として、「設楽町の暮らし＝アウトドア」が体现されるようなエリアを目指す

【整備方針②】：地域内外に向けた「ワクワク」感の発信場所となる

- ・利用者が、ここに行けば何かがあると思えるような空間として、地域内外に向けた情報発信場所を目指す

【整備方針③】：運営側の維持管理がしやすい

- ・地域の経済活性化に貢献しながら、管理者の負担が少ない持続可能な運営を目指す

【整備方針④】：地域内での交流が促進される

- ・地域の生活の一部として、住民の幅広い世代が交流できる空間を目指す
- ・住民の地域づくり活動がサポートされ、地域の声が届く機会・場所が創出される

【整備方針⑤】：地域外との連携が強まる

- ・地域内外の交流により新たなコミュニティ・活動が生まれる空間を目指す

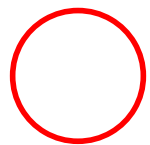
この方針を基本とし、さまざまな主体と検討を進め、ダム湖面利用案を具体化させる

2. ダム湖面利用事例共有 ～湖面利用について～

- ①湖面でできるアクティビティ
- ②湖面利用者が多いダムとは
- ③湖面利用ルールは誰が定めている？
- ④湖面利用ルールの参考事例



①湖面でできるアクティビティ



釣り



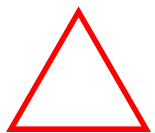
カヤック



ボート



水上バイク



もしくは



焚火



キャンプ



ドローン



遊泳

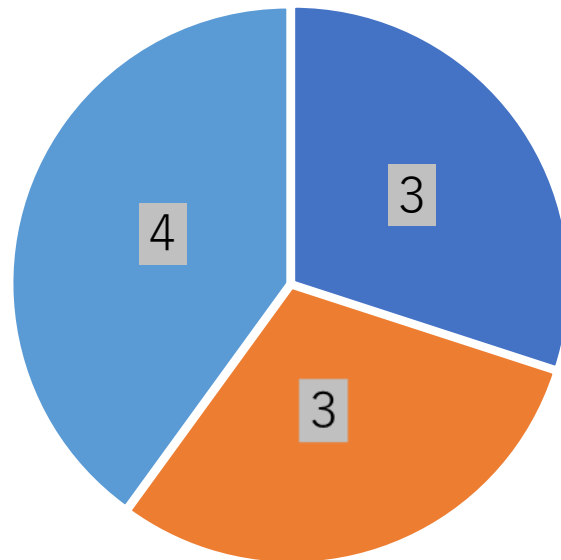
②湖面利用者が多いダムとは

- ・ボート競技場がある
- ・ブラックバスが良く釣れる
- ・水に触れられる公園やキャンプ場がある



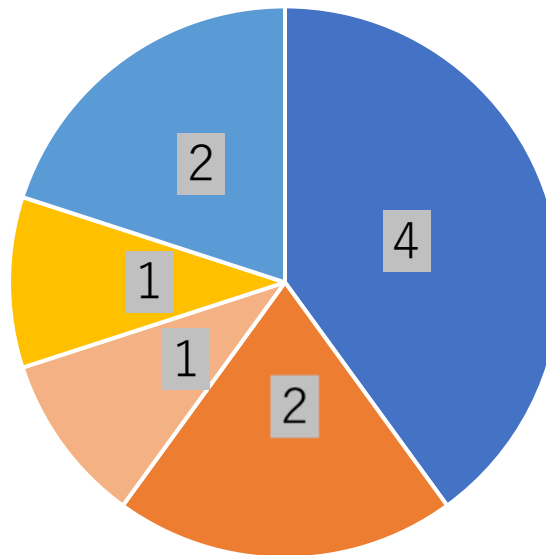
③湖面利用ルールは誰が定めている？

釣り利用者上位10ダム



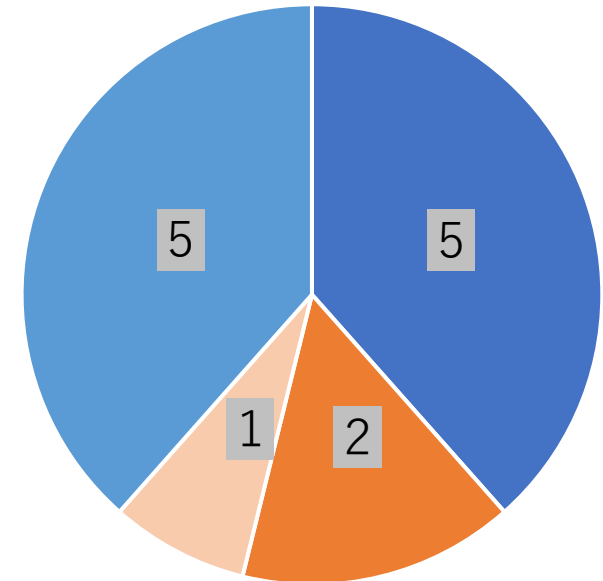
- ダム管理者
- 水源地域ビジョン実行連絡会
- ルールなし

湖面利用者（釣りを除く）
上位10ダム



- ダム管理者
- 水源地域ビジョン推進協議会
- 湖面利用者協議会
- 地元自治体
- ルールなし

愛知・岐阜・長野・
静岡のダム



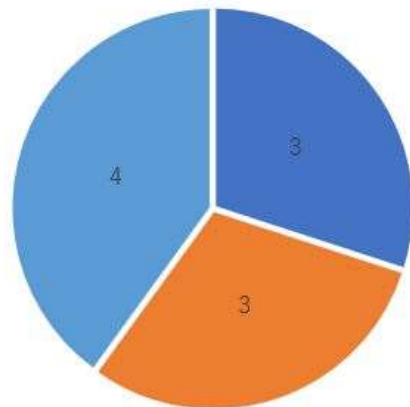
- ダム管理者
- 湖面利用協議会
- 安全利用協議会
- ルールなし

③湖面利用ルールは誰が定めている？

→湖面利用協議会は必須ではない

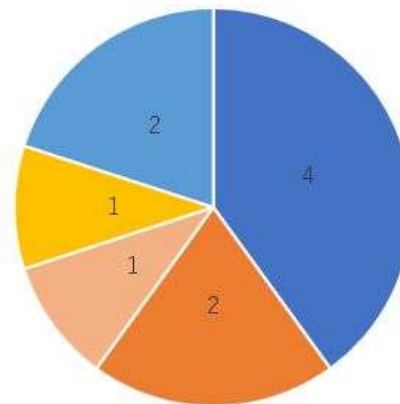
→既存の組織を活用してルールを定めている例もある

釣り利用者上位10ダム



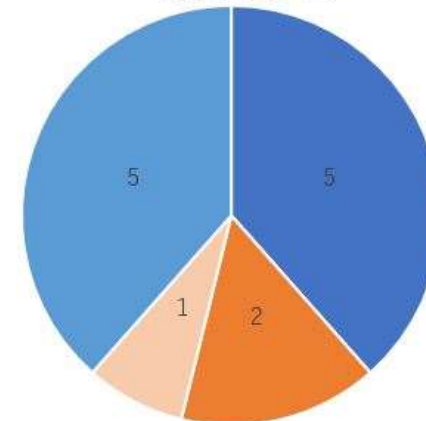
■ ダム管理者
■ 水源地域ビジョン実行連絡会
■ ルールなし

湖面利用者（釣りを除く）
上位10ダム



■ ダム管理者
■ 水源地域ビジョン推進協議会
■ 湖面利用者協議会
■ 地元自治体
■ ルールなし

愛知・岐阜・長野・
静岡のダム



■ ダム管理者
■ 湖面利用協議会
■ 安全利用協議会
■ ルールなし

④湖面利用ルール参考事例



岸は崖のため
立ち入り禁止
(矢作ダム)



船舶は市営か市が認めた
事業者に限る
釣りは岸釣りのみ可
(岐阜県岩屋ダム)



カヤック優先区域、
水上バイク区域あり
(岩手県田瀬ダム)

→ポイント 岸釣りの可否
ボート利用のルールは柔軟に設定されている

2. ダム湖面利用事例共有 ～湖面へのスロープについて～



ハッ場ダムの湖面利用



- 主に水陸両用バス
- 湖面利用ルールは貯水池水面利用協議会が定める
構成者はダム管理所、地元区長、観光協会、漁協、
商工会、警察、消防、自治体など
- ボートや船舶は協議会の承認が必要（手漕ぎは届け出が必要）
釣り、花火等は禁止

ハッ場ダムのスロープ① (カヌー・カヤック)



Googlemapより

ハッ場ダムのスロープ② (水陸両用バス)



Googlemapより

矢作ダム の湖面利用

- レンタルボート店による釣り利用
- 湖面利用ルールは奥矢作湖安全利用協議会が定める
(ダム管理所、 レンタルボート店による協働管理)
- カヤックやゴムボートなどは禁止、動力はエレクトリックのみ
- 水位の都合上利用できるのは3月から10月頃

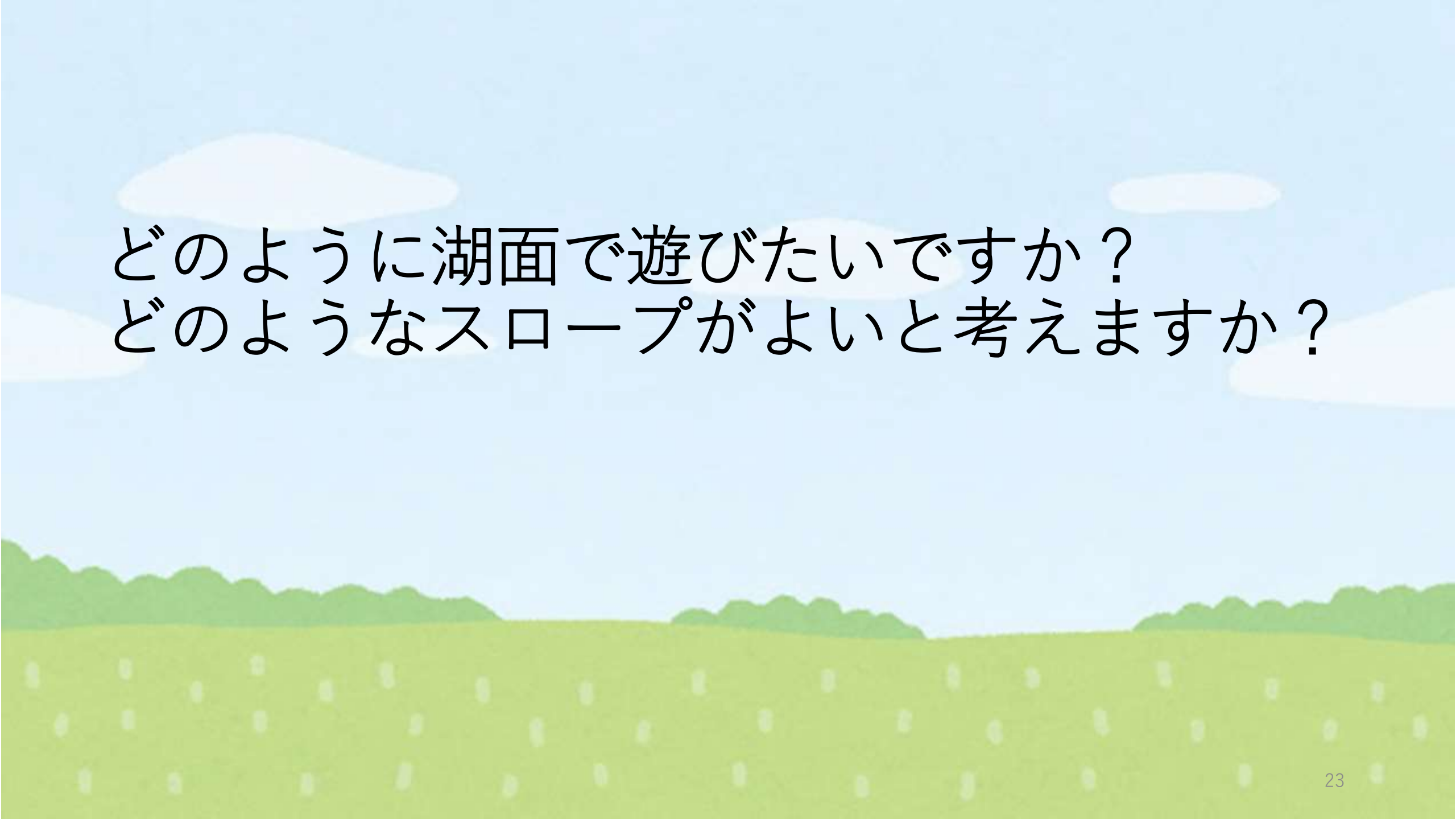
矢作ダムのスロープ



矢作ダムの事例

- ①スロープはカーブの内・外を避け、なるべく下流がよい
- ②湖面利用をコントロールできる人がいると
ダム湖の治安がよくなる





どのように湖面で遊びたいですか？
どのようなスロープがよいと考えますか？

ダム湖面利用やアクセスに関する意見等(抜粋)①

- せっかくスロープを作っても、渇水期に湖面へアクセスできず、使用できなくなってしまうのではないかな？
- ダム湖利用の事例の中で、スロープを新たに作っているのか、既設の道路を利用しているのか、どのような状況か？→調査した中では、既設の道路を使用している事例はなさそう。
- 釣りが禁止になっているケースもあるようだが、こういった場合に岸釣りが禁止されているか？→ダム湖は基本的に自由使用になるが、危険だと判断されれば、利用を禁止するケースはある。また、ダム本体に近づくこともできない。
- ダム湖に入り、ウェーディングで釣りをすることはできるか？→自由使用なので、できるが、安全面や湖面利用のルールを踏まえて、どう設定するかがポイント。ダム湖に入って、泥に足を取られるというケースも考えられるかもしれない。そういったことも踏まえ、ルールを湖面利用協議会(仮)で設定していくことになるのでは。
- 八橋地区は魚の産卵場所に適している。現在ダム工事が進んでいる箇所、玉砂利が取れるところがあるが、八橋に運搬して産卵場所の整備に使えるか→現時点ではなんともいえない。貯水量が変動するような行為はできないかもしれない。
- 事例の中では、スロープのまわり到大駐車場があったのか知りたい。スロープがあっても数台しか駐車できなければ利用につながらない。→調査した中でいうと、30台ほど止められる駐車場が整備されているケースがあった。設楽ダム湖においても、スロープを複数作ったとして、すべてに駐車場があるかなど議論が必要。
- 整備予定の川向公園には何台程度の駐車場が想定されている？→川向公園にはカフェの建設をというようなイメージはあるが、現在白紙であり、アウトドアカレッジ等で皆さんと議論して決めていく。

ダム湖面利用やアクセスに関する意見等(抜粋)②

- 大名倉公園は平場になっているのか？平場であれば車を駐車できる。スロープとまではいわないが、平場から歩いてアクセスできるような形状にしてもらうことは可能か。→整備自体は可能だと思われるが、利用にあたり危険はないかなど湖面利用協議会(仮)で決めていくことになるのでは。
- 八橋の境川のところと、大名倉のところは、土砂を遮る堰堤を作るのか？→この場では答えられない。
- 歩いて湖面にアクセスするにしても、どのように整備するか複数パターンある。階段などで歩行に問題がない人に合わせるか、スロープなど足腰に不安がある方でも移動できるようにするか、など。→釣り利用を想定しているので、足腰に問題ない方を想定することが一般的だと思う。
- 整備予定の3公園、ダム湖へアクセスするためのスロープなどについて、さまざまな要望を出し、整備してもらうのはいいが、その後の維持管理を誰がしていくのかという視点も必要。
- ダム湖面利用について、17回アウトドアカレッジ参加者の皆さんは、ルールを決めて利用するか、ルールなしに自由に利用するか、どちらが良いと考えているか。→半分程度がルールを決めて利用するに挙手。
- ルールを決めるにあたり、全く新しい組織を立ち上げるか、漁協など既存の組織を母体とした組織を立ち上げるか、どちらが良いと考えているか。→半分程度が新しい組織の立ち上げの意見だが、決めかねている方もいる。
- ダム工事との兼ね合いもあり、タイミングを逃すとスロープ整備の要望にこたえてもらえなくなるので、意見がある方はこの場で発言をお願いします。
- 湖面利用や湖面へのアクセスを考える際、湖面利用方法によるが、常時満水を基本に考えた方がいい(1年のうちほとんどが常時満水になる想定)

第17回アウトドアカレッジにおける湖面アクセスに関する要望

湖面へのアクセスに関する要望は以下のとおりです。

①川向公園

舗装されたスロープで、湖面にアクセスしたい。スロープとは別に階段でもアクセスできるようにしたい。(公園に駐車場がある前提。また湖岸が斜めで、湖面に合わせて上下する筏のようなものを設置することを想定。)

②大名倉公園

アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

③八橋公園

アスファルトで整備されたスロープではなく、人が歩いてアクセスできる程度の道や地形であれば問題ない。

④八橋 ダム湖への流れ込み部

玉砂利を敷いて、魚の産卵場所を整備したい。

⑤ふれあい広場下

ここは駐車場があり、湖面利用の起点になると想定されることから、人の往来がしやすく、ボートなどの搬入がしやすいように スロープ乗り入れができるようにしたい。

⑥山村都市交流拠点施設

ダム湖へアクセスできるように舗装路を整備し、網場を回避できるようにして湖面を利用したい

※魚の放流については、スロープがなくても問題ない。魚は回遊するので、放流できるところから放流する

→6点について、**ダム工事事務所に整備を要望予定**

第17回アウトドアカレッジにおける湖面アクセスに関する要望(地図)



川向公園 筏のイメージ



ダム湖視察について

- アウトドアカレッジ参加者やダム湖面利用に関心がある方を対象に、ダム湖視察を実施する(情報収集、事例研究)
- 第19回以降に参加者から視察先提案あり
- 希望者や関係者には視察に関する案内を送付予定

次回以降のご案内

1月15日(水)19時～20時

ジュニアアウトドアカレッジ(第18回アウトドアカレッジ)@設楽町役場議場

2月19日(水)19時～20時

ダム湖面利用を考えよう！第19回アウトドアカレッジ@設楽ダム広報展示室

3月19日(水)19時～20時

第20回アウトドアカレッジ@設楽町役場議場 ※テーマ未定

3月23日(日)

設楽町地域おこし協力隊活動報告会@旧田峯小学校

時期未定

ダム湖面利用視察(随時ご案内予定)

令和6年12月18日19時～20時@設楽ダム広報展示室
ダム湖面利用を考えよう！第17回アウトドアカレッジ ダム部

当日の様子YouTubeでご覧いただけます！



【全編】

人と自然と繋がりを五感で感じる場

アウトドアアカレツジ

つながり、
はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを
未来に繋いでいくために、
今ある地域資源、語り継がれ
る文化などを再認識します。
私たちの町に活気、愛着、
自信を！



○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など

○スケジュール：第3水曜日 19:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課

問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514

(kikaku@town.shitara.lg.jp)



◀開催情報はこちら